

## 第17回 苫小牧市公共交通協議会【要旨】

日 時：令和元年6月6日（木）

場 所：苫小牧市役所 南庁舎9階 会議室

出席者：下夕村委員（会長）、木村委員（副会長）、木村委員（道南バス株式会社）、荒井委員（北海道中央バス株式会社）、吉田委員（あつまバス株式会社）、金山委員（北海道旅客鉄道株式会社）、高山委員（苫小牧タクシーチケットサービス）、野坂委員（室蘭運輸支局）、水井委員（胆振総合振興局）、清野委員（苫小牧市）、堺委員（苫小牧警察署：代理出席）、岡橋委員（老人クラブ連合会）、八島委員（町内会連合会）、佐藤委員（社会福祉協議会）、佐瀬委員（苫小牧南高等学校）、遠藤委員（商工会議所）、橋根委員（公募）、森委員（公募）

代理出席者：梶氏（苫小牧警察署）

### 《報告事項》

報告第1号：公共交通協議会委員の変更について

- ・公共交通協議会委員の変更について報告。  
北海道旅客鉄道株式会社 金山委員、  
北海道運輸局室蘭運輸支局 野坂委員、  
北海道開発局室蘭開発建設部苫小牧道路事務所 阿部委員  
苫小牧市総合政策部長 木村委員（副会長）  
苫小牧市都市建設部次長 清野委員  
苫小牧南高等学校 佐瀬委員

報告第2号：平成30年度公共交通関連事業について

- ・市内路線バス及びコミュニティバスの利用状況、ユニバーサルデザインタクシー導入支援事業について報告。

#### 【市内路線バス】

- ・平成30年度の利用者数は2,864,151人（対前年比で378,650人減）
- ・運行経費は675,031,000円（対前年比1,407,000円増）
- ・全体収支は69,053,000円のマイナス（対前年比40,715,000円のマイナス増）
- ・系統別補助金は、40系統中、29系統対して北海道と市で60,691,000円の補助

#### 【樽前予約運行型バス】

- ・平成30年度の利用者数は17,066人（対前年比で1,315人減）
- ・運行率は平日で56.0%、土日祝日で54.2%
- ・市からの委託料は運行経費から運賃収入、国庫補助4,370,000円を差し引いた、8,503,137円
- ・樽前予約運行型バス利用促進事業として、樽前小学校に通学する児童に対し、市内路線バスの定期券購入代金の1/2を補助。平成30年度は、延べ59人、205,720円を補助。

#### 【植苗・美沢地区コミュニティバスに】

- ・平成30年度の利用者数は3,225人（対前年比85人減）
- ・運行率は59.3%
- ・市からの委託料は運行経費から運賃収入を差し引いた、6,405,590円

#### 【ユニバーサルデザインタクシー導入支援事業】

- ・平成30年度補助実績は市内1事業者、10万円を補助。

→委員から路線バス事業者に対して利用者の減少に対する分析について質問がり、事業者としては減便の影響が考えられるが、当面は、このまま推移を見ていきたいとのこと。

#### 報告第3号：平成30年度事業報告について

- ・協議会及び分科会の開催状況
- ・バスマップの作製
- ・近隣 JR 駅へのイベント案内ポスターの掲出、道南バスと高校生等との連携事業、バス待合所施設修繕事業といった公共交通利用促進事業

#### 報告第4号：平成30年度決算報告について

- ・平成30年度における会計収支決算報告。

#### 報告第5号：平成30年度会計監査について

- ・平成30年度会計収支決算書、及び収支状況について監査した結果、帳簿、領収書等、関係書類の処理は適正であり、正確であった旨を報告。

#### 報告第6号：書面会議の結果について

- ・書面会議に諮ったユニバーサルデザインタクシー及びJR 苫小牧駅内方線ブロックの生活交通改善事業計画について、同意多数であったため可決されましたことを報告。

- ・ユニバーサルデザインタクシーは、事業計画に基づき3事業者3台の追加導入予定。
- ・JR 苫小牧駅内方線ブロックは、事業計画に基づき、事業実施に向けた手続きを進めている。

報告第7号：市内路線バスにおける消費税率引き上げに伴う運賃改定について

- ・事業者から市内路線バスにおける消費税率引き上げに伴う運賃改定について報告。
- ・令和元年5月30日、室蘭運輸支局に対して、乗合バス運賃の変更認可申請を行った。
- ・平均の改定引き上げ率は1.815%。
- ・転嫁方法は現行運賃に対して110/108をかけて1円単位を四捨五入。
- ・通学フリー定期券を現行1ヵ月8,000円から9,000円、熟年定期券を現行3,000円から3,060円。
- ・認可を受け次第、ホームページ等を用いまして、改定内容を案内。

→委員から通学フリー定期券が消費税率以上の大幅な引き上げになる根拠を求められ、事業者は、割引率を見直したこと、現行の運賃に消費税引き上げ分の転嫁ができないことから、それを補うために、通学フリー定期券の金額の見直しを図る旨を説明。

→委員から学生に運賃が上がらない分を負担してもらおうという考えなのか質問があり、そのような考え方もあるが、もともと安い割引定期券を、このタイミングで見直したことも一つの要因との説明。

また、事務局から市営バス時代から継続している、苫小牧市独自のサービスで大幅な割引率であること、また、通常の通学定期券の割引率については変更がない旨を補足説明。

→委員からホームページ以外の周知方法について質問があり、バス車内において改定の内容をPRについて検討。

事務局としても、様々な媒体で周知していく旨を説明。

## 《議案事項》

議案第1号：令和元年度事業計画（案）について

### 【次期交通計画】

- ・苫小牧市地域公共交通網形成計画を作成するため、公共交通の現状や課題の整理を行う。
- ・概ね2年間で作成する予定。

### 【公共交通利用促進事業】

- ・バスマップ更新事業
- ・公共交通利用啓発ポスターの掲出
- ・バス待合所施設修繕事業
- ・産学連携事業

#### 【分科会の設置】

- ・計画検討分科会及び利用促進分科会の設置 ※議案第3号

#### 【協議会及び分科会の開催予定】

→協議会と分科会の開催予定が近い場合、別な日に開催するのか、同じ日に時間をずらして開催するのか、質問があり、詳細な予定は定まっていないため、柔軟に対応したい旨を説明。

⇒原案どおり承認

議案第2号：令和元年度予算（案）について

- ・バスマップ更新、公共交通利用啓発ポスター作製、バス待合所修繕など、令和元年度予算（案）について説明。

⇒原案どおり承認

議案第3号「分科会の設置（案）」について事務局から説明をお願いいたします。

- ・苫小牧市公共交通協議会要綱第9条に基づく分科会を設置。
- ・計画検討分科会は、公共交通の利用状況の調査・研究、将来需要についての予測、計画の基本方針等の検討、実施施策の検討など、地域公共交通網形成計画の策定に向けた事項について議論を行うこととし、参加委員については、協議会委員の中から、学術的な助言を行なえる者、直接的に施策の実施が予想される者などから委員を選任。

座長は協議会会長

- ・利用促進分科会は、公共交通に関する事業について検討を行い、利用者増加につながる取組の効果検証等を行うこととし、参加委員については、協議会委員の中から、実際に利用の多い利用者代表などを選任。

座長は、協議会副会長。

⇒原案どおり承認

議案第4号：消費税率引き上げに伴う樽前ハッピー号の運賃改定（案）について

- ・ハッピー号の運賃は、協議運賃であることから、本協議会において協議が整うことにより決定。
- ・本年10月に予定されている消費税率引き上げに対応するため、運賃の値上げについて議論。

- ・市内路線バスと同様に現行運賃に110/108 を乗じて10円未満を四捨五入。
- ・引き上げ後の運賃は、AブロックとDブロックを結ぶ290円の区間が300円、他の区間は変更無し。

⇒原案どおり承認

議案第5号：令和2年度地域内フィーダー系統確保維持計画（案）の申請について

- ・地域内フィーダー系統確保維持計画について、令和2年度からの3カ年計画について申請。
- ・内容は、本年1月の協議会で承認した令和元年4月からの運行計画を基にした3カ年計画  
→委員から利用者数の目標値の増加の根拠について説明を求められ、樽前小学校の児童数の増加に伴う旨を説明。

⇒原案どおり承認

以上